

東山代地区

49. びしゃもんてん 毘沙門天とナギの木

山代町福川内にあります。巨岩の下に毘沙門天をまつっています。毘沙門天は四天王の一つで、しよみせん 須弥山の中腹北方に住み、北方世界を守護しています。たもんてん 多聞天とも言います。その近くには樹高25m、幹周り2mのナギの木があります。ナギはマキ科の常緑高木で暖地に自生します。材質は緻密で床柱や家具の材料になり、樹皮は染色や皮をやわらかくするのに用い、葉は災難よけのお守りに使われることもあります。ナギの木は高さ25m、直径1.5mくらいまでしか成長しないといわれているので、まれ 稀にみる大木といえます。

